

## 第25回企画委員会開催

第25回(2017年度第2回)企画委員会を2017年7月27日(月)に機会振興会館会議室で開催し、「産応協のビジョン実現に向けた活動の進め方」他について意見交換を行うと同時に、今年度の戦略的活動、コミュニティ活動の進捗状況の確認他を行いました。

### [議事次第]

- ・ 前回運営委員会/企画委員会議事録の確認  
《審議事項》
- ・ 2017年度シンポジウムについて
- ・ 産応協ビジョン実現に向けた活動の進め方
- ・ 関連団体からのイベント協力要請について  
《報告事項》
- ・ 戦略的活動主査会議について
- ・ コミュニティ活動の状況について
- ・ HPCIコンソーシアム活動状況報告
- ・ 事務局長交代報告
- ・ その他

なお、今回は企画委員会終了後、引き続き「広報・提言活動」推進に向けた、会員企業によるHPCI産業利用促進についてのプレゼンⅡを開催いたしました。

## HPC産業利用サマースクール17開催報告

「HPC産業利用サマースクール17」を、2017年7月20日(木)～21日(金)に千葉県勝浦市のリフレッツ勝浦において、1泊2日で開催いたしました。今回は、今年2月のウィンタースクールで大変好評だった「最適化・設計探査」を再度テーマとして取り上げ、その応用編として開催いたしました。そのため参加者14名の内、6名は前回に引き続いての参加となり、最初から打解けた雰囲気の中で研修が進みました。講師は、前回に引き続きシーメンスPLMソフトウェアの松村泰起氏に依頼し、初日から2日目午前中に掛けての松村氏による講演と設計探査ツールHEDS™を用いた実習、二日目午後には産応協の産業利用スクールWGメンバーを加えてのグループディスカッションと、盛り沢山の内容で進みました。また、夕食後に開催された交流会には、講師、WGメンバー、参加者が全員参加し、業種、業態、年齢の壁を越えた自由な意見交換が行われ、大変好評でした。



- ・開催日時：2017年7月20日（木）13：00～21日（金）15：00
- ・開催場所：リフレッツ勝浦（千葉県勝浦市）
- ・参加者数：14名（正会員企業・機関：10名、非会員：4名）
- ・主催：スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

## 《プログラム》

### ■一日目（2017年7月20日<木>）

- 13：15～ オリエンテーション（諸注意，自己紹介等）
- 13：30～ 特別講演  
テーマ：「最適化・設計探査の位置付けのシフト」  
ーものづくりからビジネスIoTへー
- 14：40～ HEEDS™演習Ⅰ ープロセスの自動化（一次関数）ー
- 15：40～ HEEDS™演習Ⅱ ープロセスの自動化の価値ー
- 16：40～ 設計探査の事例紹介，質疑応答，ディスカッション
- 18：00～ 夕食，交流会

### ■二日目（2017年7月21日<金>）

- 9：00～ 講演「ものづくりと最適化計算の親和性（多目的探査）」
- 10：00～ HEEDS™演習Ⅲ ー材料特性の同定ー
- 11：00～ HEEDS™演習Ⅳ ーカーブフィッティングー
- 12：00～ 昼食
- 13：00～ グループワーク
- 15：00 終了

## 第38回スーパーコンピューティング・セミナー開催報告

今年度第1回となるスーパーコンピューティング・セミナー（通算第38回）は、「HPC（高性能計算）におけるセキュリティ」をテーマに、7月27日（木）に機械振興会館で開催致しました。今回のテーマは、5月14日に公開した「産協からの提言『HPCIの産業利活用促進に向けて』」において、HPCIの産業利活用促進には、『HPCI情報セキュリティの現状理解と評価』が必要であるとの取り纏めに基づき、これを受けてのテーマ選定でした。

参加者は、合計45名（一般参加者16名《正会員企業12名，非清下院企業4名》、企画委員9名、実行委員5名、セミナーWGメンバー6名、講師5名、事務局及び支援4名）でした。今回のセミナーテーマは、比較的多くの方にとって業務との関連性が明瞭であったためか、関心を持って受講された方が多かったように思われました。

## 《プログラム》

- ・ 「サイバーセキュリティ概論」  
情報セキュリティ大学院大学 教授 大久保隆夫氏
- ・ 「情報セキュリティ 10 大脅威 2017」  
(独) 情報処理推進機構 (IPA) 研究員 土屋 正氏
- ・ 「SINET (学術情報ネットワーク) のサービスと DDoS 対策への取り組み紹介」  
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構  
国立情報学研究所 (NII) 教授 山田博司氏
- ・ 「HPC 関連のセキュリティへの課題と対応」  
日本電気株式会社 プロジェクトディレクター 鎌守直樹氏

- ・ 「[海外調査報告] 産業界から見た欧州 HPC シミュレーションの動向」  
産応協 産業向けシミュレーション・ロードマップ TF 主査 金澤宏幸氏



## HPC産業利用オートムスクール開催案内

産応協では、7月開催のサマースクールに続き、「統計的データ分析」をテーマに、HPC産業利用オートムスクールを開催いたします。今回は、Rユーザ向け分析プラットフォームの「Visual R Platform」を使った実習を含め、一泊二日で行い、現在参加者を募集中です。先着順に参加希望を受け付けておりますが、まだ若干受け付けることができます。初心者の方も大歓迎ですので、どうぞ奮ってご参加ください。

- ・ 開催日時：10月5日（木）13：00～10月6日（金）15：00
- ・ 開催場所：マホロバマイズ三浦（神奈川県三浦市）
- ・ テーマ：統計的データ分析
- ・ 対象者：統計的なデータ分析に興味のある若手技術者の方  
(管理職レベルの方も歓迎)
- ・ 募集人員：25名（先着順受付中）
- ・ 参加費：産応協正会員企業の方 5,000円、非会員の方 30,000円

《プログラム》

### ■一日目

- ・ 特別講演 データ分析周辺の技術紹介と具体的業務課題の解決方法  
講師 株式会社NTTデータ数理システム 中江 俊博氏
- ・ 演習 統計パッケージ Visual R Platform 基本分析

### ■二日目

- ・ 実習 統計パッケージ Visual R Platform 応用分析
- ・ グループワーク  
データ分析やその他関連手法を用いてどのような課題解決ができるか  
コーディネータ 株式会社NTTデータ数理システム 武藤 雅基氏

参加申込は、E-mail又はFaxで以下の情報をお寄せください。

①氏名（性別）、②会社・所属機関名、③所属、④E-mail、⑤電話番号、⑥住所

[情報共有・連携]

## スーパーコンピュータ 京×データサイエンスシンポジウム

[データmeetsシミュレーション]

【日時】 2017年8月25日(金) 13:30～17:50 【会場】 丸ビルホール (丸の内ビルディング 7階)

【参加費】 無料 【定員】 200名

【主催】 理化学研究所計算科学研究機構、高度情報科学研究機構

### 開催趣旨

超スマート社会の実現には、ビッグデータの活用が不可欠です。「京」などのスパコンを利用した計算科学の世界では、以前からシミュレーションという手法を利用してビッグデータを活用してきました。そしていま、最新の分析手法を用いて、データとシミュレーションが出会う時、新たな価値が生まれる——ビジネスにも活用が広がる、さまざまな新しい可能性をご紹介します。

### プログラム

- ・ 基調講演：A I  
機械学習の新展開～シミュレーション科学～  
理化学研究所革新知能統合研究センター 副センター長 上田修功氏
- ・ 講演：医療・ヘルスケア  
予測と予防の個別化医療実現に向けたデータとシミュレーションの融合  
株式会社ユニコンピュタサイエンス研究所シニアリサーチャー 桜田一洋氏
- ・ 講演：社会経済  
「未来観測所」から見える日本企業の現状と未来：「京」をつかって  
東京工業大学科学技術創成研究院ビッグデータ数理科学研究ユニット  
ユニットリーダー 准教授 高安美佐子氏
- ・ 講演：データ同化  
シミュレーションと実測データを融合するデータサイエンス  
理化学研究所計算科学研究機構データ同化研究チーム チームリーダー 三好建正氏
- ・ パネルディスカッション  
データmeetsシミュレーション

## 今後の予定

8/8 第25回実行委員会開催

[産応協事務局]

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 中川、滝口

電話 03-6435-5425 Email: [icscp\\_office@icscp.jp](mailto:icscp_office@icscp.jp)